



STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ2009 推進ニュース

—介護ウェーブの“Big Wave”をおこそう！—

利用者・家族、地域事業所など、市民・他団体と共同した取り組みを強化しよう

「介護をよくする東京の会」結成総会 92名が参加（東京）

利用者・家族、事業者、労働者の協同で、介護保険改善・介護保障拡充の運動を広げよう！

3月14日、東京社保協、東京医労連、東京地評、東京自治労連、東京民医連の呼びかけで「介護をよくする東京の会」結成総会が大塚・ラパスホールで開かれました。総会には呼びかけ団体関係者や登録ヘルパーなど都内各地から92人が参加しました。

総会に先立つ第1部では日本福祉大学・石川満教授による記念講演「憲法や社会保障の権利性から見た介護保険制度の改善課題」で学習を行ないました。石川先生は介護保険制度は「利用者を疑うシステム」になっており、改めて小川政亮先生の「権利としての社会保障を実現する原則」から学ぶ意義を強調されました。

第2部の結成総会では、呼びかけ団体から、この間の経過や呼びかけの趣旨、申し合わせ事項が提案され、質疑応答・交流を行ないました。「介護保険は社会保障に新しいしくみを導入した“収奪条例”だ」（高齢期運動連絡会）、「保険料、利用制限など改善すべき課題が山積している」（ケアマネジャー）、「利用者・家族の実態を知ることが大事」（三多摩健康友の会）、「会の結成でいろんな人と意見交換したい」（ヘルパー）など10人が発言し、会への期待と要望が出され、会の結成を確認しました。総会には東京大学名誉教授・多田富雄先生をはじめ117団体・個人から賛同をいただき、45団体・個人からメッセージが寄せられました。

「介護をよくする東京の会」が介護改善の宣伝・署名行動 27名が参加（東京） ～土曜の午後、買い物客・参拝客で賑わう巣鴨地蔵通り商店街で～



3月14日に結成された「介護をよくする東京の会」は4月4日、巣鴨地蔵通り商店街で、介護保険改善・介護保障拡充を訴えて宣伝・署名行動を行いました。土曜の午後とあって、買い物客や「とげぬき地蔵」参拝の人たちであふれる中、都内全域から集まったヘルパーなど27人が介護現場・労働者の実態や「介護の社会化」とはほど遠い利用者・家族の困難、4月からの認定制度改悪など、「介護崩壊」の実態を訴えました。

1時間の行動でしたが、多くの人が訴えに足をとめ、「介護従事者待遇改善」署名131筆を集め、チラシ800枚を配布しました。「自分も親の介護で大変だった」「今は元気だけ

ど、安心して介護をうけたい」など、署名に協力してくださいました。

「介護をよくする東京の会」では、引き続き介護保険改善・介護保障拡充のため、宣伝や学習をすすめています。

（介護をよくする東京の会ニュース No.1 2009.04.24 より）

お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp